



しゅうれんかい (修練会) からのメッセージ

公益財団法人豊島修練会 2016年8月7日号 (通算第11号)



子どもたちへ (小さなお子さんには読んであげてください)

いろいろなことに挑戦しましょう。学校からいろいろな作品募集を紹介されたと思います。例えば、次のような作品募集があります。無理にとはおすすめませんが、どれか1つにチャレンジしましょう。先生や家の人に相談しましょう。新聞や雑誌、公民館や図書館に資料のあることもあります。

- 読書感想文。本が指定されている場合と自由の場合があります。
- 環境に関する絵、ポスター、作文。
- 作文。テーマが決まっている場合と自由な場合があります。
- 理科の観察・実験のまとめ。 などいろいろあります。



大人の皆様へ (パパ&ママ、ジジ&ババ)



子どもは、常に狙われている。と、言ったら大袈裟でしょうか。子どもの連れ回し、アパートの部屋に監禁、中には怪我をさせようと故意に自動車ではねる事件まで起きています。一時も油断ならないこの頃です。どの家族にとっても「宝物の子ども」が、犯罪の対象になることは、あってはならないことです。家族で話し合う、近所の人や自治会の人、警察などと子どもの安全のために協力し合う。最近の例としては次のようなことがあります。

- 学校の帰りに、「顔を見た(眼を付けた)」と、50歳くらいの男の人にけられた。
- 公園で遊んでいて、女の子が、見知らぬ男の人にいたずらをされそうになった。
- 友達の家からの帰り道、暗い所で、女の子が、自動車に引き込まれそうになった。大声をあげて、近くを通りかかったおじさんに、運よく助けられた。
- 友達と歩いていたら、不良少年のようなお金を取られそうになった。すぐ前の「子ども110番」の家に飛び込んで助かった。

学校の先生がたへ

学校の先生の忙しさは、想像以上にひどいものです。2013年に行われた「国際教員指導環境調査(TALIS)」は、中学校の調査ですが、日本の先生の忙しさに、世界中がびっくりしているそうです。私が見学したアメリカのロサンゼルスやドイツのケルンの小中学校の先生は、基本的に、授業に専念できるシステムになっていました。羨ましかったです。

日本の先生の忙しさは、仕事の種類と量の多さが原因のようです。日本の先生は、学級担任としての子どもの指導や事務、各教科等の授業の指導、生活指導、問題行動への対応、部活、校務分掌、保護者会の運営及びPTAへの協力、子どもや保護者からの相談などの対応、地域や関係諸団体との協力などあげたらきりがありません。

忙しいと嘆いていても多忙は減少しません。優先順位をつけて、効率化、省力化、削減化に向けて、校内で、学校間で、工夫することが必要です。(具体策がなくごめんなさい)



★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。

